



バスラ日誌（6月4日）

- 1 本日、兼支隊長小瀬1佐、新POLAD 企画官、法務官鈴木2佐をバスラにお迎えした。到着初日曜日ではあるが、早速、第20旅団長への表敬を終えて、この後幕僚長との懇談を予定している。
明日も、師団長、副師団長、J7部長、JHF司令官、及びBAS司令官等への表敬、懇談等を予定しており、隊長以下5名の方々にはゆっくりしていただく時間もあまりないが、訪問の目的を十分に達成されるよう努力したいと考えている。
- 2 以下通信班（兼ねてタリルLO）の方々は、無事サマワに帰ることができた。彼らがタリルにいる間に、すでに1度衛星通信システムがダウンしてしまったことは、サマワ到着時にかけてくれた電話で話をした。これから酷暑の時期を迎え、さらに電力事情・気象条件等悪化すると思われるので、また迷惑をおかけすると思うが、その時はよろしく願いたい。その他にも、タリルLOが必要な時等には、どんどんご指名がかかるのではないと思う。ご活躍を祈る。（成せば成る。）
- 3 5月31日マリキ新イラク首相により非常事態宣言が発令されたバスラ市で昨日VBIEDによりイラク市民27名が死亡した。事案発生場所は、買い物客でにぎわうマーケットであり、無事の市民が多数被害されたことになる。このような大惨事は、昨年8月31日以降のことだそうで、この事案が飛び火となり治安がさらに悪化しないかが今後の焦点であろう。人が多数集合する場所でVBIEDを使用するのはスンニ派の常套手段とのことで、スンニ過激派が実施したとの分析もある。もしそうだとしたら宗派間対立が激化することは必至である。いずれにせよ、ムサンナ県にこの影響が及ばないことと新生イラクの治安回復を目標としてきたMND（SE）管内の全将兵の努力が水泡に帰さないことを願うのみである。
- 4 本日快晴。バスラ9名、極めて健康。